

# 平成 30 年度 公益社団法人大気環境学会 事業報告

(平成 30 年 7 月 1 日～令和元年 6 月 30 日)

## 1. 会員の状況

| 種 別    | 平成 30 年 6 月 30 日 | 令和元年 6 月 30 日 | 差引増減 (△) |
|--------|------------------|---------------|----------|
| 正 会 員  | 853 名            | 809 名         | △ 44 名   |
| 法人会員 A | 133 名            | 122 名         | △11 名    |
| 法人会員 B | 53 名             | 52 名          | △1 名     |
| 学生会員   | 63 名             | 91 名          | 28 名     |
| 賛助会員   | 16 団体 (19 口)     | 16 団体 (19 口)  | -        |

正会員数は、平成 29 年度は 28 名の減少であったが、平成 30 年度は 44 名の減少になった。

## 2. 年会報告

平成 30 年 9 月 12 日 (水) ～14 日 (金) に九州支部の担当で、福岡県春日市の九州大学筑紫キャンパスにおいて、第 59 回大気環境学会年会を開催した。参加者数は、正会員 304 名、賛助会員 14 名、法人会員 A 6 名、法人会員 B 36 名、学生会員 65 名、名誉会員 2 名、非会員 57 名、計 484 名であり、機器展出展／カタログ出展企業数は 23 社であった。

総会、受賞記念講演、特別講演、シンポジウム、特別集会、市民公開フォーラム、分科会集会、環境機器展が開催された。一般研究発表は、口頭発表 150 件、ポスター発表 127 件、学生口頭発表 28 件、あわせて 305 件であった。また、機器展出展企業による技術セミナーを開催した。

## 3. 総会開催

平成 30 年 9 月 13 日 (木) 九州大学筑紫キャンパス筑紫ホールにて、平成 30 年度総会を開催した。審議及び報告事項は以下の通りである。

### 1) 平成 29 年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について

議長より質疑を求めた後、全員一致でこれを決議した。

### 2) 平成 30 年度事業計画及び収支予算について

定款第 35 条により、事業年度開始前の理事会において承認された平成 30 年度事業計画及び収支予算について報告した。

### 3) 大気環境学会役員を選任について

新田裕史中央選挙管理委員長から、平成 30 年役員選挙の結果について報告があり、以下の方が理事及び監事候補者として選出されたことが報告された。議長より質疑を求めた後、定款第 18 条第 3 項の規定に従い、候補者ごとに理事及び監事として選任する決議を行った。

#### (1) 理事候補者

| 選挙区 | 理事定数 | 氏名 | 所属 |
|-----|------|----|----|
|-----|------|----|----|

|        |   |        |                     |
|--------|---|--------|---------------------|
| 北海道・東北 | 2 | 村尾 直人  | 北海道大学大学院            |
|        |   | 渡邊 明   | 福島大学理工学群 共生システム理工学類 |
| 関東     | 8 | 伊豆田 猛  | 東京農工大学大学院農学研究院      |
|        |   | 大原 利眞  | 国立環境研究所             |
|        |   | 高見 昭憲  | 国立環境研究所             |
|        |   | 中井 里史  | 横浜国立大学大学院環境情報研究院    |
|        |   | 新田 裕史  | 国立環境研究所             |
|        |   | 速水 洋   | 電力中央研究所             |
|        |   | 松田 和秀  | 東京農工大学農学部           |
|        |   | 米持 真一  | 埼玉県環境科学国際センター       |
| 中部     | 3 | 大泉 毅   | アジア大気汚染研究センター       |
|        |   | 長田 和雄  | 名古屋大学大学院環境学研究科      |
|        |   | 皆巳 幸也  | 石川県立大学生物資源環境学部      |
| 近畿     | 3 | 近藤 明   | 大阪大学大学院工学研究科        |
|        |   | 島 正之   | 兵庫医科大学              |
|        |   | 竹中 規訓  | 大阪府立大学大学院           |
| 中国・四国  | 2 | 樋口 隆哉  | 山口大学大学院創成科学研究科      |
|        |   | 藤原 誠   | 島根県保健環境科学研究所        |
| 九州     | 2 | 鵜野 伊津志 | 九州大学応用力学研究所         |
|        |   | 田中 昭代  | 九州大学医学研究院           |

## (2) 監事候補者

|     |   |       |                       |
|-----|---|-------|-----------------------|
| 東日本 | 1 | 野口 泉  | 北海道立総合研究機構            |
| 西日本 | 1 | 平木 隆年 | ひょうご環境創造協会兵庫県環境研究センター |

## 4) 名誉会員の推戴について

大原利眞会長より、嵐谷奎一会員を名誉会員に推戴する旨の報告があり、承認された。

## 5) 第60回大気環境学会年会開催地について

第60回大気環境学会年会を東京都で開催し、会場を東京都内、年会長を東京農工大学教授の伊豆田猛会員とする計画が報告され、承認された。

## 6) 第61回大気環境学会年会開催地について

第 61 回大気環境学会年会を長野県で開催し、会場を長野県内、年会長を信州大学教授の野見山哲生会員とする計画が報告され、承認された。

#### 7) その他

特に記載事項なし。

### 4. 理事会等開催

#### 4.1. 理事会

##### 1) 定例の会議の開催

第 1 回：平成 30 年 8 月 8 日（メール審議）

審議内容：平成 29 年度事業報告、収支決算、監査報告等

第 2 回：平成 30 年 9 月 11 日（九州大学筑紫キャンパス）

審議内容：平成 29 年度事業報告、平成 29 年度収支決算、監査結果、入退会希望者等の承認、60 周年記念募金、第 59 回年会準備状況、第 60 回、第 61 回年会開催計画等（議事録）

第 3 回：平成 30 年 9 月 13 日（九州大学筑紫キャンパス）

審議内容：大気環境学会役員の互選、各理事の役割、AJAE 委員長選任等

第 4 回：平成 31 年 2 月 18 日（メール審議）

審議内容：論文審査中断に関する倫理委員会からの上申書について

第 5 回：令和元年 6 月 6 日（大気環境総合センター会議室）

審議内容：令和元年度事業計画、令和元年度収支予算、事務局業務委託等

##### 2) 平成 29 年度事業報告及び収支決算の承認（第 1 回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。

##### 3) 令和元年度事業計画及び収支予算の承認（第 5 回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。この結果を受け、令和元年 6 月 26 日に内閣府に事業計画書等を提出した。また、学会ホームページに掲載した。

##### 4) 事務局業務の委託について（第 5 回理事会）

第 6 回常任理事会（メール審議）で決定した事務局業務委託契約資料（業務委託契約書、個人情報契約書）について事務局から説明があり、令和元年 5 月 31 日に(株)国際文献社と契約を締結し、7 月 1 日から同社において事務局業務を開始することが承認された。現事務局は、第 60 回年会関連業務及び平成 30 年度事業報告等の内閣府への報告等の業務を実施後、令和元年 10 月末をもって閉鎖することとした。

##### 5) 平成 30 年度役員選挙について

平成 30 年度の役員選挙を、平成 30 年 6 月 20 日告示、7 月 11 日投票締切、7 月 17 日～23 日各支部における開票、7 月 25 日開票結果確定、総会における承認 9 月 13 日というスケジュールで実施した。

##### 6) 名誉会員の推戴について

大原会長から提案があり、原案通り承認された。

##### 7) 「論文作成に関する諸課題に対する学会スタンス」について

平成 27 年度第 1 回大気環境学会理事会に提出された「論文作成に関する諸課題に対する学会スタンス

(案)」について、第 5 回理事会で若干の字句修正の上決定したい旨の提案があり、了承された。

## 4.2. 常任理事会

### 1) 定例の会議の開催

第 1 回：平成 30 年 7 月 4 日、第 2 回：平成 30 年 8 月 8 日、第 3 回：平成 30 年 11 月 9 日、第 4 回：平成 30 年 12 月 28 日、第 5 回：平成 31 年 4 月 3 日、第 6 回：令和元年 5 月 17 日、第 7 回：令和元年 5 月 28 日、第 8 回：令和元年 6 月 26 日。第 1、5、6、8 回については、公益社団法人大気環境学会常任理事会に関する規程第 6 条第 3 項に基づく常任理事会の決議の省略の方法により、メール審議とした。また、適宜メール等により、必要事項を協議した。

### 2) 学会賞の選考について（第 8 回常任理事会）

学会賞選考委員会（令和元年 6 月 17 日）の報告を受け、原案の通り承認した。

### 3) 環境省との意見交換会

昨年度に引き続き、環境省水・大気環境局との意見交換会（平成 30 年 12 月 28 日）を行った。

## 5. 支部長会

平成 30 年 9 月 11 日、九州大学筑紫キャンパスにて開催し、各支部の報告が行われた。

## 6. 出版等

### 1) 大気環境学会誌

第 53 巻 4 号～第 54 巻 3 号の計 6 号を刊行した。第 54 巻第 3 号から電子ジャーナルへ移行し、電子ジャーナル掲載記事のうち、「論文」以外の「A 記事」については会員に限定して公開するため、購読者番号及びパスワードを付与して J-Stage に掲載した。また、今までの学会誌における「前付け」、「N 記事」、「後付け」等は、メールマガジンとして配信した。

### 2) 入門講座の Web 販売

大気環境学会誌に掲載した入門講座の 12 シリーズに加え、大気環境学会関東支部予測計画評価部会から著作権譲渡を受けた「CFD モデル (DiMCFD) による大気環境アセスメントガイドライン」も Web 販売を実施した。

### 3) 第 59 回大気環境学会年会講演要旨集を刊行（年会事務局）した。

### 4) 日韓大気環境学会合同英文誌 AJAE (Asian Journal of Atmospheric Environment)

Vol.12 No.3、No.4、Vol.13 No.1、No.2 を刊行した。

### 5) 「大気環境の事典」の出版

60 周年記念事業の一環として、「大気環境の事典」を朝倉書店から 2019 年度中に出版する予定で編集作業を実施した。

## 7. 委員会開催

### 7.1. 倫理委員会

平成 31 年 1 月 25 日に倫理委員会を開催し、大気環境学会誌への論文審査に係る案件について審議し、その結果をとりまとめて理事会へ上申した。

## 7.2. 国際交流委員会

中国環境科学学会大気環境分会年会（平成30年11月2～4日、中国青島）に、松田和秀常任理事、奥田知明 AJAE 編集委員長および高見昭憲理事が参加した。日中韓シンポジウムが11月3日に開催され、上記の3名が講演を行った。同日、3学会会合を開催し、2019年の学术交流（第60回大気環境学会年会時に開催）の予定を告知するとともに、AJAE等関連事項について議論した。

## 7.3. 学会賞選考委員会

令和元年5月31日を締め切りとして、平成30年度の大気環境学会賞の公募を行なった。学会賞選考委員会（令和元年6月17日）を開催し、学会賞各賞の選考を行なった。この結果は、常任理事会に報告した。

## 7.4. 編集委員会（編集実務委員会）

### 1) 定例の会議の開催

定例の会議を開催し、学会誌の編集企画を行い、合計6号（第53巻第4号～第54巻第3号）を刊行した。また、適宜メール審議により、必要事項を協議した。

第1回：平成30年7月11日、第2回：平成30年9月14日（平成30年度編集委員会を兼ねる）、第3回：平成30年11月27日、第4回：平成31年1月21日、第5回：平成31年3月22日、第6回：令和元年5月23日

### 2) 論文審査

平成30年度に投稿のあった研究論文等16本について、掲載可否の審査を行った。

### 3) 入門講座等の企画・掲載

入門講座、解説（大気環境行政）、論壇（60周年記念）を企画、掲載した。また、支部だより、分科会だより、行政だより、研究室紹介を毎号掲載した。

### 4) 電子ジャーナル化

54巻3号より電子ジャーナルに移行し、論文等はJ-STAGE上に掲載し、告知等はメール添付にて配信した。

### 5) その他

入門講座および解説の冊子化を継続し、ダウンロード販売を行った。J-STAGEの閲覧データを解析し、ホームページ上にJ-STAGEアクセスランキングをアップした。

## 7.5. 論文賞選考委員会

### 1) 論文賞の選考対象論文

大気環境学会誌第53巻およびAJAE第12巻に掲載された論文とした（全27編）。編集委員による推薦（一次評価）と論文賞選考委員会における選考（二次評価）の2段階選考とした。

### 2) 論文賞の選考

一次、二次評価を受けて、論文賞選考委員会（令和元年6月27日）を開催し、最優秀論文賞1編、部門別論文賞4編を論文賞候補として常任理事会に推薦した。

## 7.6. 広報委員会

### 1) 学会広報体制の充実

ホームページのトップページに掲載するバナー広告の募集を行った。また、第59回年会の機器展会場において、バナー広告に関する広報活動を行った。

### 2) メーリングリストの整備

会員との情報交換ツールとしての電子メールの活用に向け、会員のメールアドレス収集のための提案を行った。

### 3) ポスター「大気環境学会のご案内」の更新

学会誌第54巻の表紙に合わせて、大気環境学会ポスターを更新した。

### 4) 第32回環境工学連合講演会（日本学術会議主催）への参画

例年通り、日本学術会議主催の講演会において、学会を代表して大河内博会員が講演した。

- ・ 令和元年5月21日（火）（日本学術会議講堂）、総合テーマ「限界の認識と目標の達成」
- ・ 大河内博会員の講演「航空機排ガスによる自由対流圏大気汚染：富士山頂で観測できるのか？」

## 7.7. 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

令和元年9月20日、東京農工大学府中キャンパス（第60回大気環境学会年会会場）において、セミナー「大気環境データの国民への即時提供－観測と予測－」を大気環境学会60周年記念セミナーとして開催する企画について検討し、平成30年度第5回常任理事会において報告し、了承された。

## 7.8. AJAE 委員会

第59回年会開催期間中の平成30年9月12日にAJAE委員会を開催した。韓国大気環境学会と協力して、AJAE (Asian Journal of Atmospheric Environment) Vol. 12 No. 3, No. 4, Vol. 13 No. 1, No. 2 を発行した。

## 7.9. 「大気環境未来 60」募金委員会

前年に引き続き「大気環境未来 60」募金を募り、令和元年6月20日までに、法人11団体、個人42名から寄付金を受領し、寄付者一覧をホームページに掲載した。また、平成31年2月27日に募金を活用した事業の公募を行い、令和元年6月30日までに2件の応募があった。

## 7.10. 60周年記念事業委員会

60周年記念事業として、①「大気環境未来 60」募金、②国際交流シンポジウム、③大気環境学会誌60周年記念論壇、④大気環境の事典、⑤60周年記念年会を企画・実施した。

## 7.11. 選挙管理委員会

平成30年度役員（理事・監事）選挙を行った（平成30年6月20日告示、7月11日までに投票）。開票結果の確定を平成30年7月30日に行い、理事及び監事候補の選出結果を平成30年9月11日の理事会及び平成30年9月13日の定時総会において報告した。

## 8. 支部報告

### 8.1. 北海道・東北支部

1) 支部総会、支部学会等の開催：平成30年10月12日（北海道大学工学部）、参加者数約40名

- ・ 支部総会：平成29年度支部活動報告及び決算報告、平成30年度支部活動方針及び予算案の承認
- ・ 支部学会：一般研究15題、特別講演2件（北海道大学大学院農学研究院 小池孝良教授、北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 高木健太郎准教授）

2) 公開シンポジウム「第6回大気エアロゾルシンポジウム」の後援：平成30年11月9日、主催：酪農学園大学、（地独）北海道立総合研究機構環境科学研究センター他

### 8.2. 関東支部

- 1) 支部総会、講演会の開催：令和元年 6 月 14 日（ムーブ町屋 ムーブホール）
  - ・ 支部総会：平成 30 年度支部・部会活動報告、平成 30 年度中間会計報告、監査報告、令和元年度活動計画案、令和元年度予算案、参加者：155 名（内委任状 105 名）
  - ・ 支部講演会の開催（共催：全国環境研協議会）、参加者 112 名  
テーマ：「大気汚染防止法施行後 50 年を迎えて」
    - ① 大気汚染防止法施行 50 年～現状と課題、高澤哲也（環境省水・大気環境局大気環境課）
    - ② 大気環境改善に自治体が果たした役割（東京都の事例を中心に）、横田久司（大気環境学会（元東京都環境科学研究所））
    - ③ 日本の大気環境変化と対策効果、そして今後は？、大原利真（国立環境研究所、公益社団法人大気環境学会会長）
    - ④ 大気環境の改善を目指して、坂本和彦（埼玉大学名誉教授）
- 2) 支部役員会：第 1 回役員会（平成 30 年 11 月 9 日）、第 2 回役員会（平成 31 年 1 月 11 日）、第 3 回役員会（平成 31 年 3 月 27 日）、第 4 回役員会（令和元年 6 月 6 日）

### 3) 部会活動

- (1) 酸性雨部会：第 31 回酸性雨東京講演会「反応性窒素の大気沈着について考える（第 3 回）」、平成 31 年 3 月 15 日（電力中央研究所）、講演 3 件、参加者 28 名
- (2) 植物影響部会：講演会（植物分科会共催）、平成 30 年 12 月 7 日（つくばイノベーションプラザ）、講演 2 件、参加者 16 名
- (3) 粒子状物質部会：講演会を共催（関東地方大気環境対策推進協議会主催）、平成 31 年 3 月 12 日、講演 3 件、参加者 48 名

### 4) 関東支部会員のメールアドレスの収集

関東支部所属の正会員について、本部と連携してメールアドレスを収集し、連絡の効率化を図った。支部正会員 418 名のうち、連絡可能なメールアドレス収集率は 97%となった。

## 8.3. 中部支部

- 1) 評議員会：令和元年 5 月 15 日～20 日（メール審議）、支部総会議題等について審議
- 2) 支部総会：令和元年 5 月 26 日（日）（信州大学医学部旭総合研究棟）  
平成 29 年度の事業報告・決算報告・会計監査報告、平成 30 年度事業経過報告・決算見込み、令和元年度事業計画・予算案、第 61 回大気環境学会年会について
- 3) 公開講演会：令和元年 5 月 26 日（日）（信州大学医学部旭総合研究棟）

#### 【基調講演】

- ① 気候変動の適応策・緩和策に資する森林の活用に向けた取組、栗林正俊（長野県環境保全研究所）
- ② 名古屋市南部における PM<sub>2.5</sub>成分の経年変化、山神真紀子（名古屋市環境科学調査センター）

#### 【一般講演】

- ① 公園内外の大気中多環芳香族炭化水素類濃度（PAHs）の比較、武直子（新発田地域振興局健康福祉環境部）
- ② 富山県における地上と上空の過酸化水素およびホルムアルデヒド濃度の測定、渡辺幸一（富山県立

大学)

#### 8.4. 近畿支部

- 1) 第45回近畿支部総会・シンポジウム：平成30年7月23日（エル・おおさか）
  - ・ 支部総会：平成29年度事業・収支決算報告、委員会・部会活動報告、平成30年度事業計画及び予算の承認
  - ・ シンポジウム「石綿（アスベスト）問題への取り組み」、講演3件、参加者43名
    - ① 大阪府における石綿飛散防止対策に関する取り組みについて、大槻涼太（大阪府環境農林水産部）
    - ② アスベスト除去工事での漏えい監視について、小坂浩（建築物石綿含有建材調査者協会）
    - ③ アスベスト対策に於ける問題点と今後の課題、脇谷壮太郎（日本水処理工業）
- 2) 理事会・運営幹事会：第1回（平成30年7月23日）、第2回（平成31年2月4日）
- 3) 講演会、委員会、部会活動
  - (1) 支部講演会「気候変動やPM<sub>2.5</sub>に関心が集まる今、「大気汚染」を語る」、平成30年11月3日、大阪府大 I-site なんば、講演1題、参加者31名
  - (2) 学術委員会：大気環境学会近畿支部研究発表会、平成30年12月26日、大阪府大 I-site なんば、一般発表21題、特別講演2題、参加者43名
  - (3) 情報・広報委員会：大気環境学会近畿支部ホームページの運営
  - (4) 気象拡散部会・反応と測定部会・植物影響部会：合同講演会「オキシダントの大気環境動態と植物影響」、令和元年5月17日、大阪府大 I-site なんば、講演3題、参加者17名
  - (5) 人体影響部会：セミナー「統計ソフト R を用いた大気汚染の健康影響解析」、平成31年3月19日、大阪健康安全基盤研究所、講演3題、参加者28名
  - (6) エアロゾル部会：セミナー「小型センサによるエアロゾル計測」、平成31年3月6日、大阪市立環境科学研究センター、講演3題、参加者52名

#### 8.5. 中国・四国支部

- 1) 支部総会、令和元年5月17日（米子コンベンションセンター）
  - ・ 平成30年度事業報告・決算報告及び令和元年度事業計画及び予算計画について
- 2) 大気環境学会・日本水環境学会・廃棄物資源循環学会中国・四国支部合同講演会  
令和元年5月17日（米子コンベンションセンター）  
テーマ「大気・水・廃棄物に関わる研究の進歩と最前線」、講演3件、参加者36名
  - ① 「島根県における微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）濃度の状況」、藤原誠（島根県保健環境科学研究所）
  - ② 「水生生物における医薬品類およびパーソナルケア製品由来化学物質の残留実態と生物種間比較」、田上瑠美（愛媛大学沿岸環境科学研究センター）
  - ③ 「次世代シーケンス解析による微生物叢の把握－肥料化過程の微生物叢を調べ直してみる－」、西村和之（県立広島大学）
- 3) 支部ニュースレター 平成31年2月、4月、令和元年5月、6月の4回配信

#### 8.6. 九州支部

- 1) 第59回大気環境学会年会の開催



- 2) 支部総会、役員会の開催、平成 31 年 3 月 1 日（アクロス福岡）
  - ・ 平成 29 年度事業報告及び収支決算報告、平成 30 年度事業計画及び予算について
- 3) 支部研究発表会、平成 31 年 3 月 1 日（アクロス福岡）
  - ・ 特別講演 1 件、一般講演 11 件（大気環境 8 件、室内環境 3 件）、参加者 40 名（非会員 15 名）
  - ・ 特別講演「4 段ろ紙法による大気中粒子状物質全国調査と多段（5・4・2 段）ろ紙法による粒子状・ガス状物質観測からわかること」、藍川昌秀（北九州市立大学）

## 9. 分科会等報告

### 9.1. 植物分科会

- 1) 年会分科会：平成 30 年 9 月 12 日（第 59 回大気環境学会年会）  
テーマ：「大気汚染物質と植物の相互応答に関する最近の話題」、講演 2 件、参加者 20 名
- 2) 講演会（関東支部植物影響部会共催）  
平成 30 年 12 月 17 日（金）、つくばイノベーションプラザ大会議室、講演 2 件、参加者 16 名
- 3) 世話人会議：平成 30 年 8 月 21 日、12 月 7 日、平成 31 年 4 月 26 日の計 3 回  
世話人選挙：平成 30 年 5 月に世話人選挙を実施

### 9.2. 大気環境モデリング分科会

- 1) 年会分科会：平成 30 年 9 月 12 日（第 59 回大気環境学会年会）テーマ「大気環境モデリング解析研究の現状と今後の発展を語ろう」、講演 8 件、参加者 50 名
- 2) 大気環境学会誌入門講座の執筆（第 53 巻第 3 号～第 54 巻第 1 号）

### 9.3. 酸性雨分科会

- 1) 年会分科会：平成30年9月12日（第59回大気環境学会年会）  
テーマ：「九州における酸性雨・越境大気汚染研究」、講演3件、参加者47名
- 2) 東京講演会（共催、関東支部酸性雨部会主催）：平成31年3月15日（電力中央研究所 大手町地区）  
テーマ：「反応性窒素の大気沈着について考える（第3回）」、講演3件、参加者30名
- 3) 大阪講演会（近畿支部エアロゾル部会、酸性雨分科会共催）：平成31年3月6日（大阪市立環境科学研究中心）講演3件、参加者52名
- 4) メールニュースの発行（35回発行、メール会員237人）

### 9.4. 環境大気モニタリング分科会

- 1) 年会分科会（第 43 回研究会）：平成 30 年 9 月 12 日（第 59 回大気環境学会年会）  
テーマ「温室効果ガス・エアロゾルの観測と気候変動への影響」、講演 3 件
- 2) 第 44 回研究会：平成 31 年 3 月 8 日（江東区文化センター）  
テーマ「大気汚染物質計測の最新の動向と課題 -小型計測技術の進展と今後の環境大気モニタリング-」、講演 3 件、参加者 33 名
- 3) 幹事会の開催：平成 30 年 12 月 3 日

### 9.5. 健康影響分科会

- 1) 年会分科会：平成 30 年 9 月 12 日（第 59 回大気環境学会年会）

テーマ「PM<sub>2.5</sub>の新知見：PM<sub>2.5</sub>の何が健康に影響しているのか?」、講演3件、参加者約50名

#### 9.6. 自動車環境分科会

- 1) 年会分科会：平成30年9月12日（第59回大気環境学会年会）

テーマ「下がらない光化学オキシダントに自動車は何が出来たのか?」、講演3件、参加者40名

- 2) 自動車環境分科会シンポジウム：平成31年1月25日（東京電機大学千住キャンパス）

テーマ「陸・海・空 移動発生源のPM<sub>2.5</sub>低減への取り組み」、講演5件、参加者75名

#### 9.7. 室内環境分科会

- 1) 年会分科会：平成30年9月12日（第59回大気環境学会年会）

テーマ「室内環境における香りの課題」、講演3件、参加者13名

#### 9.8. 放射性物質動態分科会

- 1) 年会特別集会（一般公開）：平成30年9月12日（第59回大気環境学会年会）

テーマ「福島事故による放射性物質の大気変動と環境影響に関する最新の知見」、講演5件、参加者約60名

- 2) 報告等：特別集会「福島事故による放射性物質の大気環境影響はどこまで明らかになったか?」報告、大気環境学会誌、第53巻第6号、N106(2018)

#### 9.9. 臭気環境分科会

- 1) 年会分科会：平成30年9月12日（第59回大気環境学会年会）

テーマ：「臭気研究の最前線と北部九州における臭気行政」、講演4件、参加者22名

- 2) 大気環境学会誌入門講座の執筆（第53巻第5号～第54巻第4号）

#### 9.10. 都市大気エアロゾル分科会

- 1) 年会分科会：平成30年9月12日（第59回大気環境学会年会）

テーマ「PM<sub>2.5</sub>測定・分析に関する最近の研究と取組」講演5件、参加者80名

- 2) 研究セミナー（日本エアロゾル学会（PM<sub>2.5</sub>の化学特性に関する研究会）と合同主催）、平成31年3月19日（埼玉県環境科学国際センター）

テーマ「PM<sub>2.5</sub>の現在地：これまでわかったこと、そしてこれから」、講演4件、参加者42名

#### 9.11. シニア分科会

- 1) 平成30年度第1回講演会、平成30年12月18日（大気環境総合センター）

テーマ：「フィールドの科学論」、原宏（元東京農工大学農学部）、参加者12名

- 2) 幹事会：平成30年12月18日（大気環境総合センター）

#### 9.12. 気候変動研究会

平成30年度第4回大気環境学会常任理事会において、「気候変動研究会」（代表：高見昭憲（国立環境研究所））の設置が承認された。同研究会主催で、第60回大気環境学会年会の特別集会「気候変動に伴う大気環境変化と自治体の対応について」を令和元年9月20日（金）に開催する予定である。

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

令和元年9月

公益社団法人 大気環境学会